

# Press Release

2021年4月28日

報道関係者各位

国づくり狂言プロジェクト実行委員会

## ～加藤清正公の土木遺産×新作狂言～ 武将芸能「能楽」で土木の魅力と地域の誇りを発信します！

### 1. 国づくり狂言プロジェクト

2019（令和元）～2021（令和3）年の3年にわたって、愛知で生まれ育ち熊本のまちの基盤をつくった戦国武将“加藤清正公”の功績と、熊本・愛知の交流をテーマに、「清正公さん国づくり狂言 肥後/尾張」を最終年として実施します。

#### ① やまかわさとみの新作狂言／戦国武将 加藤清正公の国づくりを新作狂言に！

熊本・愛知の両地域の“まちづくり人”・“子どもたち”・“プロ能楽師”と共に創り上げた狂言で、地域間の交流を深め、「地域の魅力と誇り（シビックプライド）」を後世へと繋ぎます。やまかわさとみ氏が制作した熊本を舞台とした新作狂言「熊本三獣士」を、2021（令和3）年5月に初演いたします。

#### ② 加藤清正公の土木遺産パネル展示・狂言の内容を土木目線で解説

戦国武将／加藤清正の国づくりの足跡が、今も多く残る熊本。その中で土木遺産の数々を紹介し、土木の歴史的の魅力と地域づくりのすばらしさを伝えます。また、新作狂言「熊本三獣士」を土木技術者が解説します。

### 2. イベント開催予定

【2021（令和3）年】＜熊本開催＞

#### ■「清正公活躍の地」肥後にて

現代の土木技術者による清正公の国づくりの解説と熊本を舞台とした新作狂言上演

『奇跡の軌跡！！ 未来へ紡ぐ清正公さんの国づくり』

・日時：2021（令和3）年5月23日（日）13:30～16:30（13時開場）

・場所：本妙寺 大本堂（熊本市西区花園町、清正公の菩提寺）

※灯籠のある階段下 雨天時も同

・観覧：200名（先着順）チケット3,000円 長崎次郎書店などで販売中。メール申し込み可。

なお、収益の一部は文化財「仁王門」の修復費用にあてられます。

#### ・プログラム

##### ①尺八ファンタジー

き乃はち（尺八演奏家・作曲家）

##### ②土木×狂言とかたる 清正公さんの国づくり

田中尚人（熊本大学准教授）

牧野義紀（私たちの熊本城勉強会）

##### ③新作 清正公さん狂言「熊本三獣士」作：やまかわさとみ

・会場展示：清正公さん土木遺産パネル展示

※コロナウイルス感染拡大状況などに応じて内容変更や延期等の場合があります。

### 3. 本年上演する新作狂言

清正公さん狂言『熊本三獣士』 作・脚本：やまかわさとみ 監修・型附：野村又三郎

(あらすじ)

清正公さんが民のために造られた「鼻ぐり井手」が破壊されている！

熊本の守護獣/三獣士 妖怪“重箱婆”の古狸ふるだぬき、“清藤大明神”の白狐しろきつね、清正公のペット“

ろんござる  
論語猿”が直訴に出発。ところが城で待ち受けていたのは、山伏にとりつかれた殿様だっ

た。どうなる？妖術対決！！



(出演者)



“白狐”  
大藏 基誠 (大藏流)



“古狸”  
十四世 野村又三郎 (和泉流)  
重要無形文化財総合認定保持者



“論語猿”  
茂山 忠三郎 (大藏流)



“殿様”  
野口 隆行 (和泉流)  
重要無形文化財総合認定保持者

“小河童”  
※熊本城下の小学校の児童



“笛”

相原 一彦（森田流）  
重要無形文化財総合認定保持者



“小鼓”

久田 陽春子（大倉流）  
重要無形文化財総合認定保持者



“大鼓方”

河村 凜太郎（石井流）



“大鼓方”

加藤 洋輝（観世流）

### やまかわ さとみ（山川里海）の新作狂言について

- 狂言は、650年以上受け継がれた型があり、20～30分の短編劇として、大人から子どもまで笑顔で楽しめる芸能です。
- まちづくり人と共に100年後に残したい地域の魅力（民話・伝承・資産）を再発掘。
- 妖怪・精霊・神様の活躍するストーリーで脚本を創作し、子どもとプロ能楽師の共演を実現。
- 戦国武将がこよなく愛したユネスコ無形文化遺産日本第1号「能楽」の型を用い、独特の世界観を持つ新作狂言。

※【賞】日本水大賞、土木広報大賞、市民普請大賞、環境省グッドライフアワード他

★プロジェクトの情報はホームページ、インスタグラムで随時発信していきます。



👉 インスタグラムでは子どもたちの  
お稽古の状況などをご覧いただけます



<国づくり狂言プロジェクトの情報発信>

- ・ホームページ：<https://kunidukuri.jimdofree.com/>
- ・インスタグラム：@kunizukuri



お稽古風景

#### 4. 実行委員会

- 委員長 : 稲垣 直
- 委員 (愛知) : 秀島 栄三 (名古屋工業大学大学院教授)  
林 正章  
森 廣美 (木曾三川子ども狂言クラブ代表)
- 委員 (熊本) : 湯田 崇弘 (加藤神社第13代宮司)  
毛利 秀士 (一新校区自治協議会顧問)  
牧野 義紀 (私たちの熊本城勉強会)
- 委員 (研究者) : 木村 亮 (京都大学大学院教授)  
島谷 幸宏 (九州大学大学院教授)  
田中 尚人 (熊本大学准教授)
- 委員 (企業) : 竹内 えり子 (株式会社建設技術研究所)  
海津 利幸 (同上)  
増山 淳 (同上)  
桂 謙吾 (同上)  
清水 嘉一 (同上)  
藤原 望 (同上)  
徳本 冬華 (同上)  
高橋 裕美 (同上)

#### 5. 2021 (令和3) 年プロジェクトパートナー

- 主催 : 国づくり狂言プロジェクト実行委員会
- 協賛団体 : エフシーテック株式会社  
株式会社太閤ビルディング  
株式会社建設技術研究所
- 後援 : 熊本市、熊本市教育委員会
- 協力 : 本妙寺、崇城大学 (以上順不同)

#### 【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 建設技術研究所 管理本部広報室 倉田 (くらた)  
TEL : 03-3668-0868 (直通) e-mail : koho@ctie.co.jp 平日 9:00~17:00  
〒103-8430 東京都中央区日本橋浜町 3-21-1 日本橋浜町 F タワー

## (参考資料)

### 1. 加藤清正公の功績

加藤清正公は、尾張の国出身（名古屋市で生まれ津島市で3歳から11歳まで育つ）で、城主となった熊本では、今でも親しみをもって「せいしょこさん」と呼ばれています。

清正公は「土木の神様」ともいわれ、治水・利水、干拓、架橋などに類まれな力を発揮し、熊本の国づくりの礎を築きました。

例えば、熊本城下を流れる白川は「暴れ川」といわれ、何度も大洪水に襲われていました。清正公は上流から河口まで川の状態をつぶさに見てまわり、蛇行した川の付け替えやショートカットなどのさまざまな工事に取りかかり、洪水被害の軽減を図りました。

また、堰（せき）を築き、井手を掘るなど、あらゆる工夫をして田畑を豊かにし、大津街道などの道路整備や、横島（現在の玉名市）の干拓事業にも力を注ぎ、現代までに至る熊本の都市の基盤を構築しました。

また、「築城の名手」といわれ、熊本城や名古屋城をはじめ、数々の名城の築城に携わったことで知られています。

これら清正公の偉業は、今も人々の生活の中に息づき、恩恵を与え続けています。



「名古屋城」の清正



「熊本城」の清正

### 2. 清正公・熊本と能狂言

戦国武将は、室町期に大成した能楽をこよなく愛し、特に豊臣秀吉公が能・狂言に心酔していたことから、清正公も前田利家・福島正則・黒田官兵衛諸公と共に戦の節目や諸行事の度に演じていました。江戸期には、家康が幕府の式学としたことから、大名家にはお抱え能楽師が置かれ、武家・町人の精神鍛錬・共通語教育・時には諸藩の情報収集（諜報）の役割も果たしました。肥後熊本藩にも能役者が召し抱えられ、その菩提寺が「役者寺」と呼ばれるなど、能楽愛好者が多い地域です。

### 3. 尾張の狂言

尾張名古屋は、東京や京都と共に、狂言が盛んな地域です。

現在、名古屋で活躍しているのは、明治維新の混乱後も弟子たちが結束して流儀を守った「狂言共同社」と江戸時代に尾張と肥後の両藩に抱えられ、400年途絶えることなく続いている「野村又三郎家」です。

尾張の能狂言は、江戸時代から武家のみならず町人層にも愛され、子どもの習い事や、今でいうサークル活動として、生活の中に浸透していました。

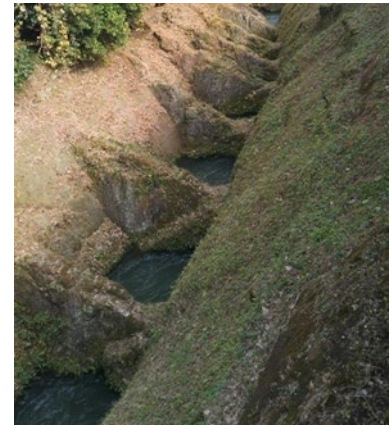
今でも、能楽堂で演じられだけでなく、「やっとかめ文化祭」で野外の辻狂言が演じられるなど、さまざまな形で楽しまれています。

#### 4. 清正公の代表的な土木遺産

<鼻ぐり井手：熊本県菊陽町馬場楠：白川>

立野から流れてくる火山灰が水路に堆積することなく白川からの水を流す仕掛け。

岩壁の下部に水流穴があり渦巻いた漕の水が井手底の穴より、勢いよく次の漕へ噴流し土砂を巻き上げ、次々と下流へ押し流しています。



<渡鹿堰：熊本県熊本市渡鹿 白川>

川から農業用水を取水するための白川で一番大きな堰（せき）です。この堰は斜めに突き出しているのが特徴です。

築造当時（西暦1600年頃）は熊本平野1,083haに水を行きわたらせ、農地を潤しました。



△画像出典：国土交通省 熊本河川国道事務所

以 上